

特集 栄養療法 アップデート 前編

〔責任編集〕

東別府 直紀

神戸市立医療センター中央市民病院 麻酔科

安田 英人

鉄蕉会亀田総合病院 集中治療科

真弓 俊彦

産業医科大学医学部 救急医学講座

INTENSIVIST

インテンシヴィスト

Vol. 11 No. 2
2019

JSEPTIC

Japanese Society
of Education for
Physicians and
Trainees in
Intensive Care

はじめに：栄養療法はいまだカオスである……………243

安田 英人 鉄蕉会亀田総合病院 集中治療科

Part I. 栄養療法のエビデンスレビュー

現在研究が盛んなトピックス

1. どのような栄養投与方法が推奨される？：

いつ開始して、いつまでに、どれくらいのカロリーを目指す？……………245

中村 謙介 日立総合病院 救急集中治療科

2. 3大栄養素（糖質・タンパク質・脂質）はどのように投与すべきか？：

これまでにわかっていること・わからないこと……………257

窪田 佳史・讃井 将満 自治医科大学附属さいたま医療センター 麻酔科・集中治療部

過去に研究が盛んであったトピックス

3. どのような投与経路が推奨されるのか？：持続 vs. 間欠、胃 vs. 幽門後……………273

石塚 あずさ 東京ベイ・浦安市川医療センター 救急集中治療科 集中治療部門

片岡 惇 練馬光が丘病院 救急集中治療科

4. nutritional supplements としての抗酸化剤、 プレ/プロ/シンバイオティクスは投与すべきか？……………281

山内 健 産業医科大学病院 小児外科

5. 免疫調整栄養剤は投与すべきなのか？：

新たなエビデンスの確立を目指して温故知新……………287

岩下 義明 三重大学医学部附属病院 救急救急センター

Part II. 栄養療法実践編

1. 重症患者の栄養リスク評価とアセスメント：

栄養ケアプロセスにのっとり簡便迅速に……………295

石川 史明 日本赤十字社医療センター 栄養課

東別府 直紀 神戸市立医療センター中央市民病院 麻酔科

2. タンパク質投与量評価：正しく評価し、正しく使うための理解と実践……………311

矢田部 智昭 高知大学医学部 麻酔科学・集中治療医学講座

3. 各種デバイスによる栄養状態評価と必要エネルギー投与量算出：

間接熱量計の活用は、その限界を知ることから……………319

大島 拓 千葉大学大学院医学研究院 救急集中治療医学

4. 過剰栄養投与の有害性とモニタリング：

重症患者の栄養療法は overfeeding の正しい理解から始まる……………327

寺島 秀夫 筑波大学消化器外科 / 茨城西南医療センター病院 がんセンター

5. 栄養療法のトラブルシューティング：

経腸栄養の安易な中止は不要：逆流や誤嚥、下痢への対処法……………335

巽 博臣 札幌医科大学医学部 集中治療医学

6. 栄養プロトコル：実践するうえでの TIPS……………347

山口 順子 日本大学医学部附属板橋病院 救命救急センター

東別府 直紀

【コラム】経腸栄養チューブ挿入方法と確認方法：幽門を越えるために……………356

石川 淳哉・野村 岳志 東京女子医科大学 集中治療科

【コラム】経腸栄養剤の種類とアウトカム：

成分栄養剤、消化態栄養剤、半消化態栄養剤、日本の栄養剤はこんなにいるのか？……………364

堤 理恵 徳島大学大学院 医歯薬学研究部 代謝栄養学分野

● Pro-Con 私ならこうする

1. 非 ARDS 患者における栄養療法—full feeding を目指す

Pros：underfeeding がよいというデータは、日本の ICU には当てはまらない……………370

山田 知輝 大阪警察病院 ER・救命救急科

Cons：研究デザインに問題あり、一律 full feeding は避けよ……………374

泉野 浩生 長崎大学病院 高度救命救急センター/長崎大学大学院 腫瘍外科

2. ARDS 患者における栄養療法—full feeding を目指す

Pros : 高齢/痩せの重症 ARDS 患者を考えれば, これもあり……………378

京 道人・志馬 伸朗 広島大学大学院医歯薬保健学研究科 救急集中治療医学

Cons : 臨床経過と患者の状態に合わせた栄養設計を行う……………381

鈴木 秀鷹 武蔵野赤十字病院 救命救急センター

安田 英人

■特集：重症感染症 2【コラム】

**MinION™ を使ったクリニカルシーケエンシングが拓く病原菌同定の新スタンダード：
オンサイトでの感染症診断を可能にする超小型シーケエンシングシステム**……………386

甲斐 慎一 京都大学医学部附属病院 手術部

松尾 禎之・広田 喜一 関西医科大学附属生命医学研究所 侵襲反応制御部門

■え？知らないの？TEG, ROTEM……………392

〈シリーズ構成：森實 雅司 済生会横浜市東部病院 臨床工学部〉

倉島 直樹 東京医科歯科大学医学部附属病院 ME センター

■Lefor's Cornor

第 32 回：Vascular Access and Hemodynamic Monitoring Part XIII.

Arterial Lines IV : Femoral Artery Catheter Placement……………402

Sayaka Kato Tokyo Kita Hospital

Saya Chiba・Alan Kawarai Lefor Department of Surgery, Jichi Medical University

■国際学会へ行こう！

第 2 回：Society of Critical Care Medicine annual congress……………406

岸原 悠貴 武蔵野赤十字病院 救命救急センター

■日本集中治療教育研究会（JSEPTIC）

JSEPTIC 簡単アンケート……………410

第 30 回：成人の呼吸不全に対する V-V ECMO・重症患者におけるストレス潰瘍予防

片岡 惇 練馬光が丘病院 救急集中治療科

■集中治療に関する最新厳選 20 論文……………417

吉田 英樹 聖マリアンナ医科大学 救急医学

柳井 真知 神戸市立医療センター中央市民病院 救命救急センター

■掲示板……………385

■倫理規定……………426

■次号予告……………427